

落小だより

学校HP (子どもたちや学校の様子を随時掲載中!!)

<https://www.town.yakumo.lg.jp/site/otoshibe-es>



学校の教育目標

自ら学び 豊かな力を発揮する子どもの育成
(よく考える子)

己を律し 自他を思いやる子どもの育成
(思いやりのある子)

自らを鍛え 心身ともに健康な子どもの育成
(明るくたくましい子)

運動会を終えて～前向きで健気な心～

校長 白鳥 宏幸

6月8日(土)に実施した運動会では、大勢のご来賓の皆様、保護者の皆様、また地域の方々にお越しいただき、子どもたちに熱い声援をたくさんいただきました。子どもたちはさぞかし嬉しかったことでしょう。みんな、いつも以上に頑張ったに違いありません。本当にありがとうございました。

今年の運動会も熱い競技が行われました。赤組も白組も、どの児童も全力を出し切ってよく頑張りました。練習期間中は雨模様が続き、グラウンドでの練習は思うようにできなかったのですが、子どもたちも先生と一緒に頑張って短期間で仕上げてくれました。練習以上の力を発揮する子どもたちに、私たち教職員もうれしさと感動であふれた一日となりました。



さて、今年の運動会を振り返って、私が一番感じたのは、子どもたちの前向きで健気(けなげ)な心です。いつも思うことですが、運動会は、運動が苦手な子どもにとって、なかなか気持ちが前向きになれないところがあります。そのような子どもは、練習段階から複雑な思いで練習に参加しています。中には、休みたいとさえ思っている子どももいます。心と体は表裏一体なので、気持ちが沈んでいると、本当に体の調子が悪くなるのです。それでも子どもたちは、みな、運動会に参加し、頑張って競技をしていました。笑顔いっぱい一生懸命頑張る姿に、落部小の子どもたちの健気さが表れていたと思います。どの学年の、どの競技・演技においても、全員の子もたちが最後まであきらめずに、全力で頑張っていました。たとえ、1着にならないと分かっている、最後までしっかりと走りきりました。たとえ、最下位でも、かっこよく走りきりました。本当に素晴らしい子どもたちだと思います。そして、赤組・白組どちらの応援もしっかり頑張っていました。全校児童が気持ちをそろえて、仲間を大声で応援できていたことに感動するとともに、心の育ちも感じる事ができました。

運動会も終わり、夏休みまであと少しとなりましたが、水泳学習や授業参観、さらには5年生の宿泊研修など、これからも多くの教育活動が続きます。これまで同様、子どもたちの健やかな成長のために、学校、家庭、地域が一体となって、教育活動を展開していきたいと思っておりますので、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。



7月行事予定



日	曜	行 事
1日	月	6年6時間授業
2日	火	5年宿泊研修①
3日	水	5年宿泊研修②
4日	木	
5日	金	フッ化物洗口
6日	土	週休日
7日	日	週休日
8日	月	委員会活動
9日	火	水泳学習(5・6年) レクセン訪問
10日	水	全校5時間授業 防犯教室(1・3・5年)
11日	木	1～4年4時間授業 水泳学習(1～4年)
12日	金	全校5時間授業 授業参観・懇談会
13日	土	週休日
14日	日	週休日
15日	月	海の日



日	曜	行 事
16日	火	水泳学習(5・6年)
17日	水	全校5時間授業 図書館バス来校
18日	木	1～4年4時間授業 水泳学習(1～4年)
19日	金	フッ化物洗口 レクセン訪問
20日	土	週休日
21日	日	週休日
22日	月	クラブ活動
23日	火	全校4時間授業 全校集会 大掃除
24日	水	夏季休業(～8月22日(木))
25日	木	
26日	金	
27日	土	
28日	日	
29日	月	
30日	火	
31日	水	



シリーズ 複式学級が始まります③

今回は、前回お伝えしました複式学級開始に向けた指導方法や学習形態の工夫についてお伝えします。

現在、複式学級のスタートに当たり、より効果的な教育活動を行うために担任による学習指導の充実やICT機器の効果的な活用等の調査・研究を進めています。それらに加え、以下のような教科担任制の充実や合同学習の見直しによる複式解消の取組、集合・交流学習の実施等の体制づくりにも取り組んでいこうと考えています。

	教科担任制	合同学習	集合・交流学習
形態	担任がすべての授業を担当するのではなく、一部の教科について、その教科を専門とする教員(専科)が授業を受け持つ制度。	2つ以上の学級が、音楽や図工・体育など、合同で同じ学習をすること。 	どちらも他の学校と協力して教育活動を行うこと。 ○集合学習—近隣の2校以上の児童が、一か所に集合して学習する。 ○交流学習—学校規模や生活環境の異なる学校が連携し学習する。
メリット	専門性の高い指導が行われる。また、専科教員が授業をしている間は担任が別の学級等の指導に当たることができ、複式学習の解消ができる。	一緒に学習する人数が増えることで、学習に活力や深まりが生まれ、それぞれの教科の目標がよりよく達成される。	児童数が少ないことを補い、学習効果を高め、教科の目標の達成や集団の資質の向上・個性の伸長及び社会性の育成を図ることができる。 
具体例	現在は、外国語や図工、書写で実施。今後、教頭先生も授業を受け持つなど拡大していく。	本校では、体育で低・中・高学年の3つのブロックに分けて実施。今後、実施形態や他教科への拡大を検討。	現在、浜松小・山越小・野田生小・東野小で社会科見学や宿泊研修、修学旅行等を集合形態で実施。本校も、来年の複式の開始に向け、昨年度より3・4年生が社会科見学に参加。

本校ではこれらの取組を進めながら、学習・生徒指導を充実させ、複式学級の良さを生かした教育活動を展開していきたいと考えています。今後も、学校だよりの中で複式学級に関する情報をシリーズとしてお知らせしていきますので、ご不安やご不明な点がございましたら遠慮なくお問い合わせください。

★令和6年6月14日(金) 避難訓練

★火災に備えた避難訓練を行いました。今回は理科室から出火したとの想定で、グラウンドへ避難した後、消防署の方のご協力のもと、煙体験を行いました。煙を実際に体験することで、訓練の重要性を実感することができました。



令和6年6月19日(水) 全校体力テスト

★全校体力テストを19日に行いました。縦割り班ごとに、反復横跳びやボール投げといった種目の計測に取り組みました。去年の記録からどのくらいの成長がみられるか分析し、今後の活動に生かしていきます。

